

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年08月31日

計画の名称	酒田市における防災・減災・安全に資する下水道の整備（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和03年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	酒田市												
計画の目標	下水道施設の浸水対策に取り組み、安全・安心な暮らしを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	571	A	571	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (R3末)
1	下水道による都市浸水対策面積を59%（H30）から64%（R3）に増加させる。（降雨強度50.4mm/hr 【7年確率】）			
	下水道による都市浸水対策面積	59%	%	64%
	浸水対策完了済み面積（降雨強度50.4mm/hr 【7年確率】）（ha） / 浸水対策計画策定済み面積（降雨強度50.4mm/hr 【7年確率】）（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	酒田市	直接	酒田市	管渠(雨水)	新設	高砂排水区(浸水対策)	雨水渠 L=0.4km	酒田市						571		-
											小計						571		
											合計						571		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
関係課及び担当課で、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証した。	令和5年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道による都市浸水対策面積は、雨水幹線の整備により（H30当初）59%から（R3）64%へ向上し、安全・安心な暮らしの実現につながった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水対策完了済み面積（降雨強度50.4mm/hr【7年確率】（ha） / 浸水対策計画策定済み面積（降雨強度50.4mm/hr【7年確率】（ha）	
	最終目標値	64%
	最終実績値	64%